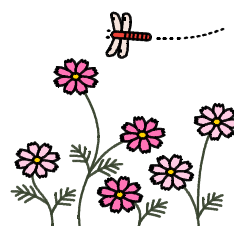


令和2年度 川越市立高階北小学校 学校だより 049 (244) 0988
学校教育目標「たかまる学び かんじる心 きたえる体」

か が や き

9月の生活目標：「時間を守って行動しよう」



【今日もいい一日】

8月17日、2学期がスタートしました。今年は、新型コロナウイルスの影響で例年より短めの夏休みとなりましたが、大きな事故やけがの報告などもなく、子供たち全員が元気に2学期を迎えられたことを何より嬉しく思っております。夏休みの間は静まりかえっていた校舎に、子供たちの明るい笑顔と元気な声に戻ってきて、学校はいつもの活気を取り戻しています。

さて、今月の学校だよりでは、2学期始めに子供たちに話した『日日是好日』について紹介します。

この『日日是好日』という言葉に見覚えのある方もいらっしゃると思います。森下典子さんのベストセラーエッセイに『日日是好日（にちにちこれこうじつ）－「お茶」が教えてくれた15のしあわせ－』というものがあります。20歳から茶道教室に通い始めた森下さんの目を通じて、茶道の心得や人生のあり方などが綴られています。また、数年前にはこのエッセイをもとに映画化もされています。

また、詩人・書家である相田みつをさんも『日日是好日』という詩を残しています。



「日日是好日」
ふっても てっても
日日是好日
泣いてもわらっても
きょうが一番いい日
私の一生の中の
大事な一日だから

相田さんはこの詩に寄せて、「人間の考え方、人間の思いというのは、いつでも自分中心です。好い日、悪い日といっても、それはどこまでも、自分にとって都合の好い日であり、自分にとって都合の悪い日なんです。」と述べています。

もともと、この『日日是好日（にちにちこれこうじつ）』という言葉は、中国唐時代の雲門文偃（うんもんぶんえん）禅師の言葉で、禅宗で禅問答を記した「碧巖録（へきがんろく）」の中に登場しています。弟子との禅問答の中で雲門禅師は、「その日その日がどんな日であれその瞬間しか訪れない日である。だからこそ全力で悔いなく生きていけば、どんな日でも好い日なのだ。」ということを「日日是好日」という短い言葉で表しています。そこから、「好い日になるように、毎日努力することが大切だ」とか「どんな日でも大切な日なので、そのまま受け入れよう」という意味でも使われるようになったようです。

2学期は、残暑が厳しい8月から日ごとに寒さが増していく12月までの長い学期となります。新型コロナウイルスの影響を大きく受けた1学期でしたが、もうしばらく、様々な活動を自粛しなければならない状況、感染防止対策をとらなければならない状況が続くものと思われます。そのような中ですが、すべての子供たちが充実した学校生活を送られる2学期となるよう、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでまいります。今後も、保護者の皆様、地域の方々のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【校長：神田郁夫】